

科目名	看護管理論			分野・必選別・単位数	共通科目	選択	2単位
担当教員	◎准教授 伊豆上智子					科目ナンバー	T2A102
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義
授業の概要	多様化する看護サービスの対象と実践の場に対応できるマネジメントのあり方を考察する機会とする。まず、保健医療福祉制度や政策を概観しながら看護サービスを提供するシステムにかかわる基本理論を学ぶ。次に、看護サービスの提供に不可欠な管理資源とそのマネジメントについて理解を深める。そして、討議やプレゼンテーションを通じて、目指す看護サービスを実現するための方策を探る。						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護サービスを提供するシステムと保健医療福祉制度・政策のかかわりについて説明できる。</li> <li>2. 看護サービスマネジメントのための管理資源とそのマネジメントにかかわる理論について例示して概説できる。</li> <li>3. 目指す看護サービスの実現に向けた具体的な方法を提案することができる。</li> </ol>						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	伊豆上智子	准教授	看護管理学概説 ・看護管理学に含まれる基本的要素と関連する学問領域、マネジメントプロセスを説明できる。			
	2	伊豆上智子	准教授	看護サービスの提供と組織 ・組織の構造と機能にかかわる基本理論を学び、看護サービスを提供する組織の特徴を説明できる。			
	3	伊豆上智子	准教授	看護にかかわる専門職組織とその活動 ・看護にかかわる職能団体と国際組織について概説し、専門職の自律性と倫理について説明できる。			
	4	伊豆上智子	准教授	看護サービスを取り巻く保健医療福祉制度と政策(1) ・日本のヘルスケアシステムの構造と現状にかかわる法と制度、政策について概説できる。			
	5	伊豆上智子	准教授	看護サービスを取り巻く保健医療福祉制度と政策(2) ・日本の看護政策の歴史の変遷を概説し、看護政策立案の過程を例示して説明できる。			
	6	伊豆上智子	准教授	人的資源管理(1) ・人材育成にかかわる基本的な概念や理論、具体的な育成方法を説明できる。			
	7	伊豆上智子	准教授	人的資源管理(2) ・人材フローのマネジメントとキャリア開発にかかわる概念や理論、具体的な支援方法を説明できる。			
	8	伊豆上智子	准教授	看護サービスの提供と安全管理(1) ・看護の対象の安全に焦点を当てて、マネジメントの視点と管理資源の活用について説明できる。			
	9	伊豆上智子	准教授	看護サービスの提供と安全管理(2) ・看護サービス提供組織における安全な労働環境の構築と労務管理に必要な知識について説明できる。			
	10	伊豆上智子	准教授	看護情報の管理と活用(1) ・情報の概念と看護がかかわる情報の特徴を概説し、情報倫理に関わる事例を示して説明できる。			
	11	伊豆上智子	准教授	看護情報の管理と活用(2) ・医療や看護の情報を看護実践に活用する場面を例示して、具体的な方法を説明できる。			
	12	伊豆上智子	准教授	看護サービスの評価(1) ・サービス評価にかかわる学問領域と研究成果を概説し、看護サービスの特徴を例示して説明できる。			
	13	伊豆上智子	准教授	看護サービスの評価(2) ・看護サービス評価にかかわる取り組みを概説し、評価の活用について意見を述べることができる。			
	14	伊豆上智子	准教授	プレゼンテーション ・看護管理領域にかかわる課題を選択し、課題解決のための具体的な方法を提案して意見を交換できる。			
15	伊豆上智子	准教授	プレゼンテーション ・自身のプレゼンテーションへの意見を受けて、看護管理領域にかかわる課題解決について考察できる。				
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	今回の授業内容に関連するトピック(授業中に提示する)について文献検索を行って文献を1編以上選出し、文献1編につき400字前後で要約した資料を人数分準備すること。 プレゼンテーション実施要領(授業中に提示する)に沿って各自準備すること。					
	【事後学修】	各授業時に指示する。授業中の疑問点は講義資料および参考書等を利用して、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	小池智子, 松浦正子, 中西睦子(編).(2018). 看護サービス管理(第5版). 医学書院.						
参考書	文献記載方法の参考書: 前田樹海, 江藤裕之.(2015). APAに学ぶ看護系論文執筆のルール. 医学書院. この他の参考書は授業中に紹介する。						
成績評価の方法および基準	文献要約30%、プレゼンテーション40%、レポート30%により評価する。 文献要約、プレゼンテーション、レポートの課題および作成要領は、授業中に提示する。						
その他履修上の注意事項	文献要約、プレゼンテーション、レポートに対し、講義の中で解説し、フィードバックする。 カリキュラムマップのDP1およびDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						